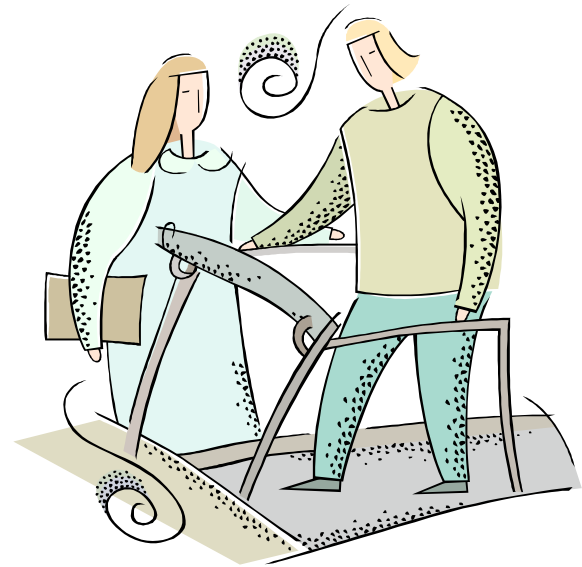


# リハビリテーション看護論 (5), (6)

2015年4月27日 (月)

1, 2時限目

担当：佐藤幹代



# この後スライド8枚あります

- 乳がんの語りやその他のピアサポートの事例を紹介しながら、障害を持つことになった当事者の体験の理解を促しています。

# <文献>

## <指定教科書>

・ P123-143

## <引用文献・HPなど>

- 1) NPO 健康と病いの語り ディペックス・ジャパンHP (2015) :  
<http://www.dipex-j.org/>
- 2) NPO法人筋痛性脳脊髄炎の会HP: <http://mecfsj.wordpress.com/>
- 3) シター・カスタ・ロイほか、(訳松木光子ほか) (2008) : ザ・ロイ適応看護論入門  
医学書院.
- 4) Gartner, Alan / Riessman, Frank (久保紘章監訳) (1985) : 『セルフ・ヘルプ・グループの理論と実際—人間としての自立と連帯へのアプローチ』,  
川島書店.

# 本日の講義目標（4/20の続き）



## <学習目標 2>

リハビリテーションを必要とする生活機能障害を抱えて生きている人々の身体的・心理的社会的特徴を深く理解できる。

→ 「当事者（患者・家族）の語り」から生活機能障害とともに生きる対象を理解する。



### <学習目標 3 >

健康の回復、維持・増進に向け、障害を抱えつつも、可能な限りの自立と、生活の質向上を目指した看護支援について深く考えることができる。

→新たな生き方の発見に向けた看護支援について、考えることができる

～20分間 話し合ってみよう～

①語りのサイトの感想



②どのような語りが印象的だったか？

それはどうしてか？

# この後スライド8枚あります

- 乳がんの語りやその他のピアサポートの事例を紹介しながら、障害を持つことになった当事者の体験の理解を促しています。